

俳句をお願いするプロンプト（五七五のリズム）

「春の倉敷川を詠んだ俳句を作って」

「美観地区の夕暮れをテーマに一句」

「白壁の町並みに合う俳句をお願い」

「懐かしい昭和の夏休みを詠んで」

「孫と過ごす日曜の一句を作って」

「庭の椿が咲いた朝の俳句をお願い」

「秋の虫の声を聞きながら一句」

「昔の縁側の風景を思い出す俳句を」

「倉敷の春祭りを詠んだ一句を作って」

「老夫婦の静かな日常を俳句にして」

「雨の日の美観地区を詠んで」

「初めてのスマホ体験を俳句にして」

「懐かしい母の味をテーマに一句」

「朝のラジオ体操を詠んだ俳句を」

「昔の通学路を思い出す一句を作って」

「倉敷の四季を感じる一句をお願い」

「お茶の時間の楽しさを俳句にして」

「友だちとの井戸端会議を詠んで」

「老眼鏡をかけた瞬間の一句を」

「今日の気分を五七五で表してみて」

短歌をお願いするプロンプト（五七五七七）

「倉敷川の春をテーマに短歌を作って」

「昔の恋を思い出す短歌をお願い」

「孫の笑顔を詠んだ短歌を作って」

「老いと向き合う気持ちを短歌にして」

「白壁の町並みを歩く気分を短歌で」

「朝の散歩道をテーマに短歌をお願い」

「懐かしい手紙を読んだ日の短歌を」

「おはぎを作る日の気持ちを短歌に」

「友との別れと再会を詠んだ短歌を」

「昔の運動会の思い出を短歌にして」

「倉敷の秋の風景を短歌で表して」

「病院の待合室での心情を短歌に」

「初めて AI と話した日の短歌をお願い」

「老夫婦の静かな朝を短歌にして」

「お風呂上がりの気持ちを短歌で」

「昔の仕事の誇りを詠んだ短歌を」

「お正月のにぎわいを短歌にして」

「桜の下での思い出を短歌にして」

「倉敷の美術館で感じたことを短歌に」

「今日の空模様を短歌で表して」

詩をお願いするプロンプト（自由詩・散文詩）

「倉敷の春の風景を詩にして」

「老いとともに歩む日々を詩にして」

「孫と手をつないだ日の詩をお願い」

「昔の恋文を思い出すような詩を」

「白壁の町を歩く詩を作って」

「懐かしい味噌汁の香りを詩にして」

「朝の光が差し込む部屋の詩をお願い」

「老眼鏡越しに見える世界を詩にして」

「友とのおしゃべりを詩にして」

「昭和の台所を思い出す詩をお願い」

「倉敷の川辺で感じた静けさを詩に」

「初めてスマホを触った日の詩を」

「昔のアルバムを開いたときの詩を」

「お茶を飲みながら感じる幸せを詩に」

「老いの中にある希望を詩にして」

「今日の空と心の色を詩にして」

「昔の歌を口ずさむ気持ちを詩に」

「倉敷の美術館で感じた静寂を詩に」

「家族のぬくもりをテーマに詩を作って」

「今の自分をそっと見つめる詩をお願い」